【人間失格から人間合格へ !!】

妻・恋人への暴力を止めたい男性のための
ＤＶ克服ワークショップ〔通算 71 回〕

あらゆる種類の暴力は、パートナーからの愛情を冷やします。ＤＶを伴う男性は、残念ながら自分で知らない間に相手を傷つけるテクニックをもっています。このままでは相手は耐えられません。夫・恋人として失格も同然です。この重大性から目をそむけて生きる男性が極めて多いのですが、これを放置していくと大切な存在を失います。ぜひ自らの問題に直視する勇気を奮い立たせて下さい。「今まで自分が相手にどれだけのことをしたか」を正面から理解し、健康なパートナーシップを身につけることこそ、進むべき道です。粘り強くあなたの振る舞い・言動の変化に取組みましょう。ご参加をお待ちしています。

〔これまで扱ったテーマ〕 ・敏感力を高める／・コミュニケーションに伴う破壊的意図・相手の怒りを心から理解する／・責任を問われる恐れの克服／・本当の誠意とは／他

日　程：2017 年 **5** 月 **27** 日(土)[pm7:00～9:00]⟹ **28** 日(日)[am9:30～pm5:00]
<ＤＶ克服ワークショップは2・5・8・11月に開催されます。>

会　場：板橋区内研修施設、他

講　師：草柳 和之(大東文化大学講師)＋斉藤 章佳（大森榎本クリニック）
上村宏樹(宝仙大学専任講師)＋石井 忠継(臨床心理士)

受講費：11,880 円(開催日１週間前以降入金は 1080 円増)　＝通い・要予約＝

●●問合せ：メンタルサービスセンター： ☎03-3993-6147, PHS:070・5016・1871
〒176-8799 練馬郵便局留 [HP＝http://www5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/]
※上記に電話でご予約下さい．留守電の際はメッセージをお入れ下さい．折り返しご連絡致します．

《申込方法》

申込書に必要事項を記入し，受講費を添えて郵送して下さい(郵便為替が安価で便利)。
【現金振込の方】 みずほ銀行・桜台支店
(普)１４３８９０３ ﾒﾝﾀﾙｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ 草柳和之

◆納入した費用は返却致しかねることをご了承下さい。／◆申込者には改めてスケジュール・会場案内等のご連絡を致します。／◆現在，心身の治療中の方は，治療者と相談の上ご参加下さい。／◆遠方の参加者は，各自宿泊場所をご用意下さい。

JOIN US!（一緒にやりましょう）
⇨ワークショップ・スタッフ，自助グループや英訳のボランティア，他，協力者求む！

◆"草柳 和之"のＤＶ等の本◆

『〈新版〉ドメスティック・バイオレンス－男性加害者の暴力克服の試み』（岩波書店）**¥588.**
日本における本格的加害者プログラムの幕開けの役割を担った，好評の小著の改訂版．

共著・生と死を考える会編（一橋出版）¥1890
『いのちに寄り添う道』〈日本図書館協会選定図書〉
生と死を考える会20周年記念として出版。2007.7に同会主催で行われた，草柳のいじめ問題講演会の内容に加筆し，「いじめ防止を他人事としないために」として，巻頭寄稿．我々が無自覚にいじめ加害に加担しやすい構造を解き明かし，徹底して被害者の立場でいじめを根絶する視点を，斬新な視点で論じる．

《メンタルサービスセンターの目指すもの》

●平和は家庭から・・・あらゆる暴力問題の克服
（虐待，いじめ，セクハラ，性暴力，元従軍慰安婦問題）→講演／ロビイング／執筆活動／他
●徹底して当事者の側に立った被害者支援
被害者の電話相談・自助グループの実施／ＤＶ被害者支援研修の実施／ＤＶ研究会の開催／他
●被害者も納得できるＤＶ加害者更生プログラムの開発と実施，加害者啓発
加害者自助グループ他／加害者用ＤＶ啓発小冊子の作成／ＤＶ加害者心理療法研修の実施／他
☞私たちは，プロとして常に工夫と研鑽を怠りません．

CUTTING

【ＤＶ克服ワークショップ・申込書】 申込日：　年　月　日

フリガナ
氏名　　年齢　　職業

住所 〒　　☎

送金方法〈ﾏﾙをつける〉：①銀行振込／②郵便為替(為替は無記入でお願いします)／③現金書留

【講師紹介】

草柳 和之 《Kazuyuki Kusayanagi》

●メンタルサービスセンター代表・カウンセラー．長年，DV 被害者支援に携わると同時に，今や，日本のDV加害者更生プログラムの第一人者であり，その実践は新聞・TV・雑誌等を通じて広く紹介される．TV出演などを含むマスコミ対応，全国にわたる講演活動，執筆活動により，男性がDVや性暴力の問題に取組む重要性を社会に向けて提言し続けている．資格：日本カウンセリング学会認定カウンセラー．

●大東文化大学非常勤講師．日本カウンセリング学会東京支部会・運営委員．NPO 法人・日本ホリスティック医学協会理事．著書に『ドメスティック・バイオレンス』(岩波書店)，共著『標準 音楽療法入門 下』(春秋社)，『いのちに寄り添う道』(一橋出版)他多数．家庭裁判所・国の研究機関・自治体・弁護士会・大学等から，幅広く講演や研修会の依頼を数多く受けており，その優れた研修指導は多くの人々から支持されている．

斉藤 章佳 《Akiyoshi Saitoh》

●現在，御徒町榎本クリニック・精神保健福祉部次長．精神保健福祉士・社会福祉士．ソーシャルワーカーとしてアルコール依存症・性依存症を中心に様々なアディクション問題に関わっている．

●同時に，法務省所轄更生保護施設にて，薬物依存のある犯罪者のグループ・プログラムを担当し，保健所の酒害相談員も勤めている．日本「性とこころ」関連問題学会理事．専門学校首都医校非常勤講師．

このvibrationを広めましょう！ 非暴力を伝える音楽

ピアノ曲《ＤＶがなくなる日のための「インテルメッツォ(間奏曲)」》
●作曲者：野村 誠（元・京都女子大学専任講師）
●ＣＤ：¥1,800〈通信販売：送料込¥2,000〉
〈Time：原曲約６分，全約30分／全８曲〉
発売元＝エアプレーンレーベル／製品No：AP1020
●楽譜：￥８００(通信販売：送料込¥1,000)

この曲はＤＶ根絶を目指す精神的内容を象徴的に表現するピアノ曲として作曲、作曲者のご好意により演奏時の著作権がキャンセルされ、自由に演奏が可能です。同曲は個人的に楽しむだけでなく、イベント等の際にぜひ活用して下さい。同曲がイベントで演奏されたり、曲が流されたりすることは、我々のＤＶをなくそうとする思いが、音楽というシンボルの形で伝わることを意味します。
＝作曲委嘱者：草柳 和之＝
【問合せ】ﾒﾝﾀﾙｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ：☎03-3993-6147

草柳氏の好著、改訂の上再販！

『DV加害男性への心理臨床の試み――脱暴力プログラムの新展開』（新水社）¥2,310.

ＤＶ被害者からも
「このような加害者ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑが欲しかった」
という反響が寄せられています！！

＊

著者は心理臨床家としての粋を尽くした実践の蓄積によって、ＤＶ問題に携わる関係者の予想を遥かに凌駕する水準の加害者プログラムを開発しており、本書ではその方法論の独創的枠組みやプログラム展開を詳細に紹介している。米国と日本の実情の差を踏まえて、米国の単なる模倣を避け、加害者プログラムを我が国で有益に展開する構想についても論じる。本書は、加害の側から社会の暴力を根絶しようという途方もなく困難な企ての、妥協なき苦みに満ちた記録でもある。

《スタッフ紹介・上村 宏樹：Kouju Uemura》

宝仙大学専任講師．児童養護施設に心理療法士・副施設長として約 10 年間，家族支援と虐待問題に携わった．共著に『"共に生きる場"の発達臨床』（ミネルヴァ書房），他がある．乳幼児精神保健学会幹事．

《スタッフ紹介・石井忠継：Tadatsugu Ishii》

現在，児童相談所にて非常勤心理職をつとめる。また，東日本大震災被災地域，他のスクールカウンセラーとしても，活動している．臨床心理士．

≪代表・草柳和之の活動実績（一部のみ）≫

【海外の学術集会・シンポジウムでの講演，他】
・2004.8：第２回アジア性教育学術交流会(台湾・樹徳科技大学)にて発表．＜国内の学会発表は多数＞
・2007.11：南京大虐殺 70 周年を期して開催された中日女性シンポジウム(中国・南京師範大学)にて，戦争とトラウマに関する短い講演の後に，野村誠作曲の"非暴力を伝えるピアノ曲"（上欄）を演奏．

【海外の要人に研修の提供】
・2004.11：インドネシア女性エンパワメント省副大臣及び同補佐に，技術協力研修「女性に対する暴力撤廃」を提供(国際協力機構〈JICA〉の依頼)．

【マスコミ対応】
・2000.5：ＣＳ放送・朝日ニュースターでの約 50 分の対談番組に出演．(その他，多くの報道番組・新聞・雑誌で紹介，ワイドショーに出演)

【研修・講演依頼（以下の他，極めて多数）】
・1998.12：東京弁護士会・ＤＶシンポジウム．
・1999.2：日弁連・両性の平等に関する委員会．
・2002.12：日本コミュニティ心理学会・DVｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ(立教大学)．
・2004.2：家庭裁判所調査官研修所研修．
・2005.2：西日本心理劇学会・心理劇研修会(九州大学)．
・2005.8：国立音楽大学夏季音楽講習会・ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ概論．
・2005.9：静岡県教育委員会・セクハラ防止研修会．
・2006.2：鳥取県福祉相談センター・ＤＶ被害防止研修会．
・2007.7：NPO 法人・生と死を考える会，いじめ問題講演会．